



## 自分の得意分野や 経験を活かせる仕事です。

北海道労働局小樽労働基準監督署長

**小原 信也** OBARA Shinya

平成3年度任官

平成29年4月 旭川労働基準監督署副署長

平成30年4月 北海道労働局安全課 副主任安全専門官

平成31年4月 小樽労働基準監督署長

平成31年4月～(現職) 小樽労働基準監督署長

労働基準監督署の業務は、庶務、監督指導、安全衛生、労働保険料の徴収、労災補償と多岐にわたります。

署長は、これらの業務を統括管理するとともに、行政の活動内容について、広く周知する役割を担っています。特に、今年度は、働き方改革関連法により、改正労働基準法等が順次施行されています。各種業界団体の会合など、あらゆる機会に、その内容を周知し、監督署の活用をアピールすることも署長の職務の一つです。

## 印象に残っている経験

1～2年目 札幌東労働基準監督署 一般職員

3年目 名寄労働基準監督署 一般職員

上司や先輩に同行し、食料品製造工場、地下鉄建設工事現場、家具製造工場など多種多様な現場で、監督指導に関する実践的な研修を受けました。あらゆる業種の現場を経験できる仕事は他にはないと思います。

ある日、死亡災害の調査に同行しました。当時の私より若い20代前半の働く方が亡くなった災害でした。当たり前のように存在する毎日が当たり前ではないということ、1日のうち多くの時間を過ごす働く場の安全確保の大切さを痛感し、労働基準監督官の使命を強く認識しました。

25～26年目 札幌中央労働基準監督署 第一方面主任監督官

第一方面主任監督官は、あらゆる情報から、監督実施計画を作成し、各労働基準監督官の適性を見極め、担当する事案を割り振りして、最大限の行政効果を挙げるという重責を担っています。悪質な法違反が認められた事案の捜査についても、中心的な役割を果たしながら、若手労働基準監督官の教育研修も行います。大変でしたが、非常にやりがいのある職務です。

28年目 北海道労働局安全課 副主任安全専門官

労働局の安全課は、局管内の労働災害防止対策を担う部署です。

前年、北海道における労働災害による死亡者数は全国最多でした。

建設工事を発注する機関や各業界団体等に対して、説明会を開催するなど、労働災害防止に関する協力を要請しました。

最終的に北海道における労働災害による死亡者数が減少し、過去最少の年間死亡者数となりました。すべての人が安心して働ける社会を実現することが我々の使命であると再認識しました。

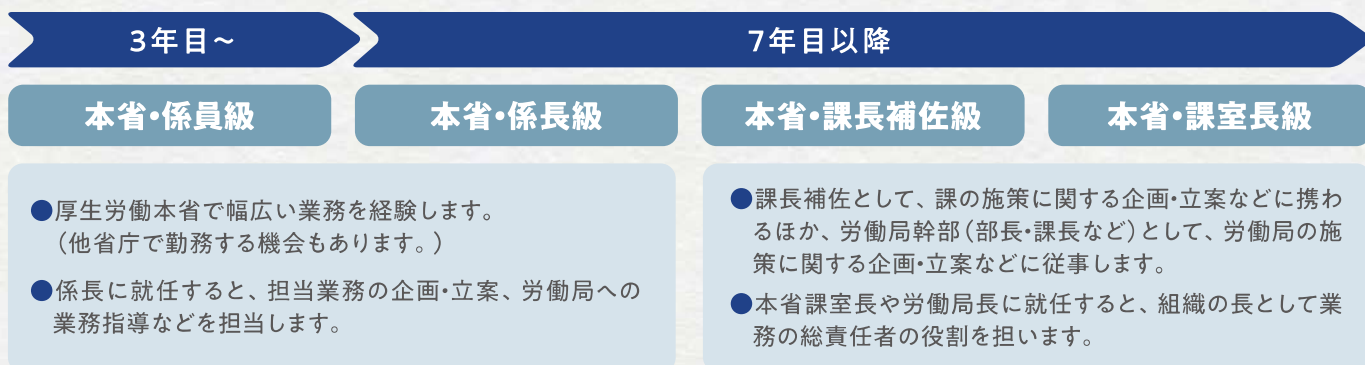
## 労働基準監督官のキャリアパス



### ■ 厚生労働本省で勤務する場合

※ 本人の希望に応じて、採用後3年目以降、厚生労働本省で勤務するという選択肢もあります。

※ 係員級での本省勤務後は、本人の希望を踏まえ、採用された労働局に勤務する場合と、引き続き本省で勤務する場合とがあります。



## キャリアパスを支える研修制度

### 採用後1年間の研修のほか各種研修があります

労働基準監督官は、採用後1年間、監督関係業務に係る基礎的研修・実地訓練を受けます。この間に労働大学校で実施される中央研修を約3か月間にわたり受講することになります。研修の内容は、法令に関する知識や産業の安全衛生に関する知識等を十分に修得できるカリキュラムとなっています。

このほか、定期的に又は昇進時において中央研修が実施されます。

新任中央研修



労働基準関係法令の講義



司法実務演習（取調べ）

